

第四十六回帝國議會
衆議院

恩給法改正ニ關スル建議案外二件

恩給法改正ニ關スル建議案(高木正年君外二名提出)
文武官並巡査守等恩給増額ニ關スル建議案
恩給法改正ニ關スル建議案(三浦得一郎君提出)
帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案
金鵄勳章年金増額ニ關スル建議案

委員會議錄(速記)第五回

會議

大正十二年二月二十三日午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋 光威君
理事 八田 宗吉君
理事 三浦得一郎君

理事 長谷場 敦君

根本 正君 清之君
石川 三郎君 津野田是重君
平田民之助君 萩 亮君
野村 嘉六君 鶴澤 宇八君
高木 正年君 仙波 太郎君

同月二十二日委員吉川吉郎兵衛君辭任ニ付キ其ノ補闕トシテ萩亮君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ
同月二十二日帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(八田宗吉君外六名提出)金鵄勳章年金増額ニ關スル建議案(鶴澤宇八君外一名提出)ノ審査ヲ執レモ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 市來 乙彦君

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長 入江 貫一君
法制局長官 馬場 鐵一君
法制局參事官 黑崎 定三君
大藏主計局長 田 昌君
大藏省參事官 藤井 眞信君
大藏書記官 太田嘉太郎君
陸軍次官 白川 義則君
陸軍一等主計正 飯塚 唯助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、質問ハ前回デ終リマシタノデ、本日ハ討論ニ移ル積リデアリマス、通告ガアリマスカラ通告ノ順ニ依リマシテ發言ヲ許可致シマス、三善君
○三善委員 過日來廣々本員ヨリ述べマシタル如ク、文武官吏並ニ教員巡査守等、一般是等ノ者ニ對スル恩給ノ給與金額ガ、現在ノ生活ノ狀態ニ對シテハ甚ダ不足デアリマス、申スマデモナク官吏、公務員、總テ一定ノ法則ノ中ニ衣食シテ、嚴格ナル服務規律ノ中ニ服從シテ參ルノデアリマ

スカラ、是等ニ對シテハ出來得ル限り國家ハ恩給、扶助料及傷病兵ノ増加恩給等ハ、財政ノ許ス限リ之ヲ増額シナケレバナラスト云フコトハ、我黨年來ノ主張デアリマス、殊ニ昨年ノ議會ニ於キマシテハ、本員此恩給ニ關スル委員長ト致シマシテ、餘程努力ヲ致シマス、大抵通過ヲサセマシタ結果、今日政府ハ改正ノ法案ヲ提出サレタコトハ過日モ申シタ通りデアアル、然ルニ吾々ノ目的トスル所ノ金額ノ増加ガ僅ニ傷病兵ニ對スル百五十萬圓許リ、遺族扶助料ニ對スル二百五十萬圓許リ、現在豫算ニ組込マレタモノハ三百萬圓ニ過ギナイノデアリマス、是デハ迎ヘ現在ノ文武官吏ニ對シテ目前ノ生活ノ資ニ不足デアル、斯様ニ考ヘマシテ我黨ハ此議會ニ於テ、而モ我黨ハ黨議トシテ總務ノ名ヲ以テ建議案ヲ提出シタヤウナ次第デアリマス、而シテ現在恩給給者ノ數ハ三十萬人デアリマス、之ニ對スル現在ノ國庫ノ支出ハ六千五百萬圓デアリマス、吾々ハ此度ノ恩給法改正案ニ掲ゲテアル所ノ即チ六十條以降ノ歩合ニ對シテ、一々増額ノ修正ヲ致スノデアリマス、其修正ノ金額ヲ總計致シマスト、約三千萬圓ノ増加スルコトニ相成リマスルと思ヒマス、サウ致シマスルト現在ヨリハ新ニ恩給ヲヤル者モ其中ニ加ッテ居ルコト、ナレドモ、大體總計テ約五割ニ近イ増額ヲ此政府案ニ對シテ修正ヲ加フルノデアリマス、從來文官、巡査、看守、學校教員等ノ恩給ハ其在職年數ニ依リマシテ計算致シテ居リマスガ、最初ハ文官ハ十五年カラ恩給ニ係ルノデアリマスルガ、最初ハ四分ノ一デアリマス、而シテ四十年ニ至ッテ三分ノ一ニ達スルノデアリマスルガ、之ヲ改メテ各條ニ付テ申シマスルガ、大體總括シテ先キニ申シテ置キマスガ、之ヲ改メテ今日四分ノ一ノモノヲ三分ノ一ニスル、斯ウ云フノガ此改正ノ目的デアリマス、軍人ハ固ヨリ文官トハ違ヒマシテ、其職務ノ上カラモ特ニ優遇ヲ致サナケレバナラス、又現在ノ一從來ノ歩合ヲ見マシテモ或ハ一二ノ特例ヲ除キマスル外ハ、文官ヨリハ多イノデアリマス、併ナガラ只今文官ノ例ヲ申シマシタガ、之ニ準ジテ軍人モ一般ニ増額ヲ致シマシタ、ソレモ逐條ニ申上ゲマス、斯様ナ次第デアリマス、ソコデ一寸茲ニ申上ゲタイノハ、最早會期モ迫ッテ居リマスルノデ、速ニ此書々ノ修正案ヲ本會ニ於テ決議ヲ致シマシテ、本會議ニ廻シマシテ、又貴族院ニ廻スデモアリマセウカラ、成ベク討論ヲ省イテ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマスルノデアリマス、併ナガラ只今申シマシタ總

計三千萬圓ノ増額ニナリマスルカラ、之ヲ直ニ政府ガ十二年度カラ同意ヲ致スカ否カト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ政府ニ交渉スル必要ガアルト考ヘルノデアリマス、ソレデ此恩給法ノ第六十條カラ改正ノ方ヲ申上ゲマスルカラ、此法案ニ就テ諸君御聽取ヲ願ヒタイノデアリマス、先ヅ第一ニ此第二節、恩給金額、第六十條ハ文官ノ恩給デアリマス、文官在職年十五年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通恩給ヲ給ス前項ノ普通恩給ノ年額ハ在職年十五年以上十六年未滿ニ對シ退職當時俸給年額ノ二百四十分ノ六十二相當スル金額ト、現在ノハ斯ウ云フ譯デアリマス、丁度四分ノ一デゴザイマス、二百四十分ノ六十ト云フノハ四分ノ一デアリマス、ソレヲ修正ヲ致シマシテ「百五十分ノ五十」ト致シマス、即チ三分ノ一ニ改メルノデアリマス、ソレカラ此項ニ續キマシテ「十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ二百四十分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額」ト斯ウアリマス、是ハ「二百四十分ノ一」トアリマスノヲ失張百五十分ノ一ト改メマス、ソレカラ二行程先キニ參リマシテ「勤續在職年中十五年ヲ控除シタル殘ノ勤續在職年一年ニ付退職當時ノ俸給年額二百四十分ノ一」ノ割合ヲ以テ之ニ加給ス」トアリマス、是ハ「三百分ノ一ニ改メマス、致シマス」ト此分ハ從來ヨリ少々減ルノデアリマス、併ナガラ此項ノ分ニ對シテ大變ニ増シテアリマスルカラ、十五年以上特別ニ貰フ場合、是ハ外國ニ在勤スルトカ、特別ノ場合ヲ規定シタノデアリマスカラ、ソレハ少少歩合ヲ減シマシタノデアリマス、次ハ二十九頁ノ一行ノ所デ「第四十七條ノ規定ニ依リ準文官ニ給スヘキ普通恩給ノ年額ハ退職當時ノ俸給年額ノ二百四十分ノ六十ニ相當スル云々」トアリマス、是モ失張「百五十分ノ五十」ニ、即チ「三分ノ一」ニ改メマス、是デ普通文官ノ十分ノ一ハ濟ミマシタ、今度ハ六十一條ニナリマシテ軍人ノ恩給増額ノ所デアリマス、六十一條ハ軍人在職年十五年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通恩給ヲ給ス「前項ノ規定ハ準軍人在職年十一年以上ニシテ退職且其ノ身分ヲ免セラレタル場合ニ付之ヲ準用ス」前二項ノ普通恩給ノ年額ハ退職當時ノ階等及其ノ在職年數ニ依リ定メタル別表第一號表ノ金額トス」トゴザイマスガ、文官ハ色々アリマシテ、文官ノ給料ハ色々アリマスノデ、其罷メマス時ノ俸給金額ニ依ッテ何分ノ幾ラヲ給スト云フコトニナッテ居リマスガ、軍人ノハ從來既ニ給與スベキ金額ヲ表ヲ以テ示シテアリマス、即チ政府提出ノ改

正案ノ第一號表デアリマス、此第一號表ノ金額ヲ全部増加ヲ致シタルデアリマス、其割合ヲ要所々々ニ就テ中上ガマスガ、斯ウ云フ割合ニナルデアリマス、先ヅ一寸少尉ノ所デ一例ヲ申シマスガ、詳シイ事ハ改正ノ表ヲ委員長ニマデ差出シテアリマス、御覽ヲ願ヒマス、此總テニ付テ要所々々ヲ申上ゲマス、御覽ヲ願ヒマス、此總テニ付デアリマス、例ヘバ少尉ノ十一年ニ達シマス場合ハ、現在ノ所デハ恩給額ハ三百六十八圓——ソレデハ少尉ノ所デ三十年ト云フ所ヲ舉ゲテ申上ゲマセウ、現在ハ恩給年額ガ少尉ノ三十年ニ達シマス場合ハ四百八十五圓デアリマス、ソコデ現在ノ所ノ恩給歩合ハ少尉ノ所デ五割七歩ニナッテ居リマス、先刻申シマス如ク文官ニ於テハ四十年ニ達シマシテモ三割五歩四厘ニシカナリマセウ、軍人ハ少尉ノ所ニ於キマシテ、少尉ノ三十年ニ達シマス場合ハ現在ガ五割七歩デアリマス、今度ハ只今申シマシタヤウニ金額ヲ増シマシテ、現在四百八十五圓ノ所ヲ六百四十七圓ト致シマス、サウ致シマスルト是迄ハ五割七歩デアリマシタガ、今度ハ七割六歩一厘ニナリマス、ソレカラ大尉ノ所デ一例ヲ申上ゲマス、二等大尉ノ三十年、ソレハ俸給ハ千八百圓デアリマス、現在ノ所デハ恩給ハ七百七十八圓デアリマス、是ハ歩合カラ申シマス、現在デハ四割三分デス、然ルニ此度ノ修正ヲ致シマスル案ハ、恩給年額ハ千七百七十八圓ニナリマス、其歩合ガ六割九歩三厘、約七割、次ニ少佐ノ所デ三十年——少佐ノ三十年ハ二千六百圓ガ給料デアリマス、故ニ現在ノ所ノ恩給ハ千八百八圓デアリマス、ソレデ現在ノ歩合ハ四割三歩デアリマス、今度改メマスル方ノ金額カラ申シマスルト千四百九十二圓デアリマス、約千五百圓ニナリマス、歩合カラ申シマス、五割七歩デアリマス、次ハ大佐デアリマス、大佐ノ三十年ハ俸給ガ四千六百圓デアリマス、現在ノ所ノ恩給額ハ三千零七圓七百四十四圓デアリマス、其歩合ヲ申シマスルト三割七歩九厘デアリマス、今度改メマシテ其恩給金額二千二百十三圓——アリマス、サウ致シマスルト歩合ガ四割六歩ニナリマス、少尉ノ所ニ於テ三十年デ五千六百圓ノ俸給デアリマス、故ニ現在ノ恩給ハ二千五百五十八圓デアリマシテ、其歩合ハ現在ハ三割八歩五厘デアリマス、今度改メテ二千七百九圓ニナリマス、此歩合ハ四割六歩、ニ當リマス、大尉ノ所デ三十年、俸給七千五百圓、現在ノ恩給額ハ二千三百七十圓デ、歩合ハ三割一歩六厘デアリマス、今度改メマスル案ニ依ルト二千四百五十圓ニ恩給額ガナリマス、歩合カラ云フト四割六歩デアリマス、斯ウ云フ風ニ軍人ノ恩給歩合ガ改マリマスルニ對シテ、文官ノ方ハ先刻申シマス如クニ改メマシテ、三分ノ一ニ改メテ——是マデノ四分ノ一ヲ三分ノ一ニ改メテ、三割三歩三

厘ニ當リマス、要スルニ文官ヨリ確ニ優遇ノ意ヲ表スル意味ヲ以テ表ヲ作テ居リマス、其表ハ委員長ノ手許ニ差上ゲテアリマス、御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、軍人ノ方ハ濟ミマシタガ、其次ニ六十二條デアリマス、教育職員在職年……

○高橋委員長 前ガ落チテ居リマス

○三善委員 一ツ落チマシタ、改正法案ノ二十九頁ノ終リカラ二行目ノ所デアリマス、別表第一號表中ノ十一年ノ額ト十二年ノ額トノ差額ニ相當スル金額ヲ之ニ加給ス、下アリマスガ、其差額ト云フ間ニ二分ノ一ニ相當スル金額ノ斯ウ云フコトニナリマス

○高橋委員長 差額ノ二分ノ一デセウ

○三善委員 六十二條デ、是ハ「教育職員在職年十五年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通恩給ヲ給ス」前項ノ普通恩給ノ年額ハ在職年十五年以上十六年未満ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ六十下アリマスガ、是モ「百五十分ノ五十分」三分ノ一ニ改メマス、而シテ「十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ一ニ相當スル金額」ヲ「百五十分ノ一」ト改メマス、而シテ此三十頁ノ終リノ行デアリマスガ、勤続在職年十五年以上控除シタル殘ノ勤続在職年一年ニ付退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ三下アリマス、之ヲ「百五十分ノ一」ト改メマス、ソレカラ次ニ三十一頁ノ四行デアリマスガ、ソレハ前カラ受ケマシテ「殘ノ勤続在職年一年ニ付退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ一」トアリマス、之ヲ「三百十分ノ一」ト改メマス、ソレカラ矢張三十一頁ノ終リカラ三行目ノ終リニ「退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ六十」トアルノヲ、之ヲ「百五十分ノ五十」ト改メマス、是デ教育職員ノ所ハ終リマシタ、次ニ六十三條警察監獄職員在職年十年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通恩給ヲ給ス」トアリマスガ「前項ノ普通恩給ノ年額ハ在職年十年以上十一年未満ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ六十」トアリマス、是モ亦前同様ニ「百五十分ノ五十」ト改メマス、其行ノ終リデ「退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ一」トアルノヲ「百五十分ノ一」ト改メマス、初カラ五行目ノ所デ「其ノ勤続在職年中十年ヲ控除シタル殘ノ勤続在職年一年ニ付退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ一」トアルノヲ「三百十分ノ一」ニ改メマス、是デ警察官看守等ハ濟シマシタ、次ニ六十四條、待遇職員デアリマスガ、是ハ産業技師技手ト云フ種類デアリマス、在職年十五年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通恩給ヲ給ス」トアリマシテ「前項ノ普通恩給ノ年額ハ在職年十五年以上十六年未満ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ六十」トアルノヲ「百五十分ノ五十」ニ改メマス、其行ノ終リデ

「退職當時ノ俸給年額ノ二百四十十分ノ一」ヲ「百五十分ノ一」ニ改メマス、次ニ六十六條、下士卒傷病恩給ノコトデアリマスガ、是ハ津野田君ニ讓リマシテ御意見ヲ伺フコトニ致シマス、而シテ六十七條、是ハ一時恩給デアリマス、恩給年限ニ達セズシテ辭シマシタ場合ノモノデアリマシテ、文官在職年一年以上十五年未満ニシテ退職シタルトキハ之ニ一時恩給ヲ給ス」前項ノ一時恩給ノ金額ハ退職當時ノ俸給月額ノ二分ノ一ニ相當スル金額ニ在職年ノ年數ヲ乘シタル金額トス」トアリマス中ノ「二分ノ一」ト云フヲ取ッテシマッテ、月額ノ全部ヲ與ヘル、斯ウ云フ修正デアリマス、ソレカラ同ジ頁ノ最終カラ二行目、前項ノ一時恩給ノ金額ハ退職當時ノ俸給月額ノ二分ノ一トアリマス、是モ「二分ノ一」ヲ取ッテシマヒマス、是ハ教育職員デアリマス、其次ハ警察監獄職員ノ所デアリマス、七十條ノ二項、前項ノ一時恩給ノ金額ハ退職當時ノ俸給月額ノ三分ノ二ニ致シマス、其次ハ七十一條ノ所ヲ取ッテ金額ヲ與ヘルコトニ致シマス、其次ハ七十一條ノ所ヲ取ッテ金額ヲ與ヘルコトニ致シマス、是モ「二分ノ一」ヲ取ッテ金額ヲ與ヘルコトニ致シマス、最後ニ過日來本員カラ續々述ベマシタ北海道屯田兵ノ分ヲ、今日マデ歴代ノ政府ガ打遣、テ置イタト云フコトハ政府ノ甚ダ缺點アル、而シテ過日モ述ベマシタ如ク最初二十年ノ契約期間ニ於テ勤続シテ居リマシテ、途中カラ制度ガ變テ爲ニ權利ヲ失フ、最初屯田兵ニナリマシタトキニハ無論現役デアッタノデアリマス、是ハ陸軍モ御認ニナッテ居ルト云フコトヲ過日モ説明サレマシタ、就キマシテハソレニ對シテ斯様ナ條項ヲ加ヘタイノデアリマス、此法案ノ百五條、之ヲ全部取ッテ後ニ廻シテ、百五條ノ北海道屯田兵ノ現役ニ服シタル年月日數ハ之ヲ公務員ノ在職年ニ通算シ、本法施行ノ日ヨリ其ノ受ル年金額恩給ヲ改訂シ又ハ新ニ之ニ普通恩給ヲ給ス」別項トシテ「前項ニ規定スル者ノ遺族ノ年金額扶助料ニ付之ヲ準用ス」今一ツ行ヲ別ニシマシテ「前二項ノ場合ニ於テハ第五條ニ規定スル請求期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス」法文ハ斯ノ如クデアリマスガ、精神ハ既ニ申シマシタ如ク明治七年ニ屯田兵役ニ就キマシタ時ヲ以テ、現役トシ起算サレルコトヲ精神トシテ此改正ヲ致スノデアリマス、本員ハ是ダケノ修正ヲ提出致シマス

○根本委員 只今三善君ヨリ修正ノ意見ガ出マシタガ、私ハ此屯田兵ノ外ノ方ニ付テ賛成ノ意ヲ表スルノデアリマス、屯田兵ニ付テハ又別ニ御話ノアルコト、思ヒマス、此法案ノ全體ヲ見マスルト、統一ヲシテ尙ホ是マデ氣ノ著カナカッタ所ノモノヲ繼續シテ恩給ヲ賜ハル、或ハ更ニ是マデニ無イモニ對シテ恩給ヲ下サル、斯ウ云フヤウナ法案デアリ

マス、併ナガラ吾々ノ希望スル所ハ此根本ノ問題デアッテ、即チ一般ニ文武官ノ恩給ヲ殖スト云フコトニ付テ、先日本員ガ特ニ大藏大臣ニ質問致シマシタ所、大藏大臣ニ於キマシテモ増額ノ意見ハ尤モデアル、財政ガ許スナラバ其時ガ来ルデアラウト云フ意味ヲ以テ御答給ニナリ、尙ホ其後總理大臣ニ於キマシテモ矢張斯様ナ質問ニ對シテ、來年ニナッタラサウ云フコトモ出來ルデアラウト云フヤウナ御答給ガアッタ承知シテ居ルノデアリマス、然ルニ恩給ヲ受クル人ハ國家ニ對シテ功勞ノアル人デアアル、而シテ物價ハ三倍五倍ト云フヤウニ騰貴シテ居ル、最モ下級ノ巡查ノ俸給ノ如キハ、以前ハ月給九圓ト云フヤウナコトデアッタモノガ、今日ハ四十五圓ト云フヤウニナッテ、世界ノ大勢ニ依ッテ物價ハ非常ニ變動ヲ來シタノデアリマス、故ニ今度改正ラシテ、是マデ四分ノ一トナッテ居リマシタモノヲ三分ノ一ニ改正シテ、一般ニ與ヘテ修正意見ニ賛成致シマス

○松實委員 私ハ三善君ヨリ修正サレマシタ第五條ニ付テ賛成ノ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、即チ第五條ハ北海道ノ屯田兵ニ恩給ヲ與ヘルト云フ制度ヲ設ケル事デアリマス、此事柄ハ請願トシテ度々本院ヲ通過シ、又昨年ハ本員ハ他ノ同志諸君ト共ニ建議案トシテ提出致シマシタ、滿場一致デ通過ヲ見ニ至リマシタ、之ニ對シテ又過日來本委員會ニ於テ政府委員ノ御意見モ承タノデアリマスガ、大體ニ於テハ同情ヲ以テ調査研究ヲ進メテ居ル、又最後ニ至ッテハ近ク數日ノ中ニ法制局ニ向ッテ其案ヲ出シ、サウシテ本會議ニ於テ成ベク通過ヲ圖ルヤウニ致シタイト云フ御答モアッタノデアリマスガ、此場合修正案トシテ提出シテ政府ノ御同意ヲ得タイト思フノデアリマス、即チ北海道ノ屯田兵ノ法制ハ明治七年ノ制定デアリマス、サウシテ翌年カラ公布ヲ致シマシテ、明治二十九年第七師團ガ設置サレマデ、二十幾年間屯田兵ノ制度ガアッタ、而シテ其間ニ幾度カ屯田兵ガ募集サレテ居タノデアリマス、其間ニ於テ一面ニ於テハ荆棘ヲ切リ開イテ、サウシテ非常ナ艱難苦勞ヲ致シテ北海道ノ土地ノ開拓ヲ致スト共ニ、明治十年ノ西南戰役、又明治二十七八年ノ日清戰役、三十七八年ノ日露戰役ノ此三大戰役ニモソレノ參加致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此屯田兵ノ現役期間ト云フモノガ一般的ニ認定サレテ居ナイ爲ニ、恩給ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、即チ屯田兵ハ其募集スル當時ニ於テ恩給制度ガ無イト云フコトガ一ツノ理由ト、又實際ノ勤務ノ狀態ガ師團兵ト異ルト云フ理由、及ビ給與ノ狀態ガ師團兵ト異ナル、斯ウ云フ三ツノ理由ヲ以テ、此屯田兵ガ現役ト云フモノヲ恩給ニ通算スルコトハ出來ナカッタノデアリマスガ、併ナガラ只

今申シタヤウニ此三大戰役ニモ參加シテ、サウシテ相當ノ勳功ヲ垂レ、日清戰役ノ如キハ茲ニ現在御出ニナル所ノ津野田君ガ能ク御承知デアリマスガ、寧ロ師團兵ヨリ、ヨリ以上ノ成績ヲ擧ゲテ居ルト云フヤウナ勳功モアッタノデアリマスケレドモ、只今申上ゲタ三箇ノ理由ニ依ッテ恩給ニ浴スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、併ナガラ段々ハ甚ダ偏頗ガアルト云フ議論ガ起キマシテ、大正六年ノ法律第六號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正サレテ、サウシテ幾分カ此恩給ニ給スルコトヲ得タノデアリマス、即チソレハ兵村ノ監視ヲシタ者トカ、或ハ屯田兵ノ部隊附デアッテ常務ニ服シタ者、常務ニ服シタ者ハドンナモノデアアルカト云フ、給與係、射撃係或ハ被服委員、糧食委員、鐵蹄工若クハ縫工靴工ト云フヤウナ者ハ、現役期間ヲ恩給ニ通算スルコトガ出來タノデ、是ハ恩給ニ浴スルコトガ出來タノデアリマスガ、其他ノ一般ノ軍事教練ヲ受ケタ者ハ恩給ニ浴スルコトハ出來ナカッタノデアアル、是等ハ比較的只今申シタヤウナ常務ニ服スルコト云フ……

○高橋委員長 一寸御注意シマスガ、是ハ既ニ修正案ガ出テ居ルノデアリマスカラ、其必要ノ理由ヲ餘リ管々シク申述ベル必要ハナカラウト思ヒマス、賛成ノ理由ダケ簡單ニ申述ベテ戴キタイ

○松實委員 ソコデ比較的閑職ニ在ッタ者ガ恩給ニ浴シテ、サウシテ閑職ニ在ッタ所ノ軍事教練ヲ受ケタ所ノ者ガ恩給ニ浴セスト云フコトハ、如何ニモ偏頗ノ如ク考ヘテ、廢ラ政府ニモ先刻申上ゲタヤウナ次第ヲ請願ラシ、或ハ建議ヲシタノデアリマス、幸ニシテ此修正案ガ通過致スト云フコトニナリマスレバ、只今申上ゲタ實際ノ軍事教練ニ服シ、サウシテ劇職ニ勤務シタ者ガ此恩給ニ浴スルコト云フ事デアリマスカラ、非常ニ立派ナル結構ナル案デアアルト思ヒマシテ、私ハ滿腔ノ誠意ヲ捧ゲテ之ニ賛成スルト同時ニ、ドウカ政府當局ニ於カセラレテモ、若シ此案ガ衆議院ヲ通過スルヤウデアッタナラバ、同意ヲ表セラレンコトヲ希望シテ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○三善委員 一寸先刻ノ修正ニ補足シテ置キタイ事ガ一言アリマス、只今私ガ増加恩給金額ヲ計上致シタモノガ約三千萬圓アルト申シタノハ、即チ今回既ニ増加恩給等ヲ計上サレテ居ルモノマデモ加ヘマシテアリマシテ、其總計ガ三千萬圓ニナルノデアリマスカラ、其事ヲ御承知願ヒタイ、更ニ今松實君カラ十分ノ御説明ガアリマシタガ、此屯田兵ハ即チ准兵卒ノ仕事ヲシタ者ガ恩給ニ漏レテ居ルノデアリマス、ソレヲ明治七年ノ十月ニ募集サレ、サウシテ二十年頃マデヤッテ居タ時分ハ兵卒恩給ガナイ、之ニ給與スル目的ヲ以テ百五條ノ修正ヲ提出シタノデアリマス

○津野田委員 私ハ此増加恩給ノ事ニ付キマシテ修正案ヲ

提出致シマス、其前ニ一寸一言御斷リ致シマスノハ、實地ニ付キマシテ増加恩給ノ事ニ付テハ、詳シク研究致シテ見マシタ、然ルニ或人ハ第一項第二項即チ傷ノ重イ者ニ最モ重キヲ置イテ、之ニテ生活シ得ルノミナラズ、附添人モ必要デアリマスカラ、其積リデ増額セヨト云フ要求モアリマシタ、又或ル人ハ第五項六項ハ不自由ヲスル程度ハ皆變ラヌノニ、動トモスルト疎外サレルカラシテ、此方ニ注意ヲ十分ニ拂ッテ貰ヒタイト云フ意見モアリマシテ、私ハ只今ノ意見ヲ折衷致シマシタ、茲ニ修正案ヲ提出スル譯デアリマスガ、諸君ノ御手許ニ増加恩給新舊對照表ト云フモノガアリマス、此甲號ノ方ヲ御覽願ヒタイ、其一番下ノ欄デアリマス、即チ六段ニナッテ居リマスガ、兵卒欄、之ヲ政府提出ノ改正案ニハ第一項是ガ五百四十圓ニナッテ居リマスガ、此五百四十圓ヲ九百圓ソレカラ第二項ノ四百三十二圓ヲ七百五十圓、第三項ノ三百三十三圓ヲ六百圓、第四項ノ二百七十圓ヲ四百八十圓、第五項ノ二百十二圓ヲ三百七十五圓、第六項ノ百八十圓ヲ三百圓、只今ノハ甲號ノ方デアリマス、今度乙號ノコトヲ申上ゲマス、乙號ノ方ハ第一項ガ四百五十圓、是ガ政府提出ノ改正案デアリマスガ、私ハ之ヲ七百二十圓ニ増加致シマス、次ニ第二項三百六十圓ヲ六百圓、第三項二百七十八圓ヲ四百八十圓、第四項二百二十五圓ヲ三百八十四圓、第五項百八十圓ヲ三百圓、第六項百五十圓ヲ二百四十圓、之ニ準ジマシテ上ノ方ヲ申上ゲマスガ、必要ガアレバ士官ノ欄モ讀ミマス(全部願ヒマス)下呼フ者アリ)ソレデハ申上ゲマス、下カラ順ニ上リマス、甲號ノ方デアリマス、下士六百圓ニナッテ居ルノ方九百九十圓、ソレカラ四百八十圓ヲ八百二十五圓、三百七十圓ヲ六百六十圓、其次ノ第四項即チ三百圓ヲ五百二十八圓、第五項二百四十圓ヲ四百十三圓、第六項二百圓ヲ三百三十圓、是ガ甲號ノ方、乙號ノ方ハ第一項五百十圓ヲ七百九十二圓、第二項四百八圓ヲ六百六十圓、第三項三百十五圓ヲ五百二十八圓、第二項二百五十五圓ヲ四百二十三圓、第五項二百四十圓ヲ三百三十圓、第六項百七十圓ヲ二百六十四圓、次ハ准士官、准士官ノ甲號ノ第一項ノ七百二十圓ヲ千八十圓、第二項ノ五百七十六圓ヲ九百圓、第三項ノ四百四十四圓ヲ七百二十圓、第四項ノ三百六十圓ヲ五百七十六圓、第五項ノ二百八十八圓ヲ四百五十圓、第六項ノ二百四十圓ヲ三百六十圓、次ハ乙號ノ第一項ノ六百八十六圓ヲ千五百七十六圓、第二項ノ四百八十圓ヲ七百二十圓、第三項ノ三百七十圓ヲ五百七十六圓、第四項ノ三百圓ヲ四百六十一圓、第五項ノ二百四十圓ヲ三百六十圓、第六項ノ二百圓ヲ二百八十八圓、次ハ修正額ダケヲ申上ゲマス、尉官ノ甲號ノ第一項カラ順次ニ申シマス、千二百圓、千圓、八百圓、六百四十圓、五百圓、四百圓、次ハ乙號九百六十圓、八百圓、六百

四十圓、五百十二圓、四百圓、三百二十圓、今度ハ佐官ノ甲號千八百圓、千五百圓、千二百圓、九百六十圓、七百五十圓、六百圓、乙號、千四百四十圓、千二百圓、九百六十圓、七百六十圓、六百圓、四百八十圓、今度ハ將官甲號二千四百圓、二千圓、千六百圓、千二百八十圓、千圓、八百圓、乙號千九百二十圓、千六百圓、千二百八十圓、千二百四十圓、八百圓、六百四十圓、次ハ附表第三號ノ傷病賜金ノ額、デアリマス、是ハ増加恩給ト密接ナル關係、デアリマス、是モ修正案ヲ提案致シマシタ、第三號ノ戰國又ハ戰國ニ準ベキ公務ト云フノガ、第一款カラ第十款マデアリマス、下士ト兵卒ト云フ區分ニナッテ居リマス、其下士ノ第一款カラ第十款マデ申上ゲマシテ卒ニ及ビマス、先ヅ甲號ノ修正案、ケテ申シマス、千六百五十圓、千四百八十五圓、千三百二十圓、千二百五十圓、九百九十圓、八百二十五圓、六百六十圓、四百九十五圓、三百三十圓、六百六十五圓、以上ガ下士ノ欄デアリマス、今度ハ卒ノ甲號ノ修正案デアリマス、千五百圓、千三百五十圓、千二百圓、千五十圓、九百圓、七百五十圓、六百圓、四百五十圓、三百圓、百五十圓、次ハ乙號ノ下士、千三百二十圓、千八百八十八圓、千五百六十圓、九百二十四圓、七百九十二圓、六百六十圓、五百二十八圓、三百九十六圓、二百六十四圓、百三十二圓、今度ハ卒、千二百圓、千八十圓、九百六十圓、八百四十圓、七百二十圓、六百圓、四百八十圓、三百六十圓、二百四十圓、百二十圓、……

○高橋委員長 序ニ四號表ヲヤッテ貰ヒタイト思ヒマス、

○津野田委員 第四號表ノ修正致シタモノヲ申上ゲマス、先ヅ高等官ノ分ニ於キマシテ親任官カラ始メマス、親任官ノ十年度ヲ御覽ヲ願ヒタイ、十年ニ於キマシテ六千二百五十圓、次ハ一等官デアリマス五千四百十七圓、二等官四千六百六十七圓、三等官三千八百三十三圓、四等官三千二百九十二圓、五等官二千七百八十八圓、六等官千九百六十圓、七等官千四百十七圓、八等官千六百十七圓、ソレカラ判任官ノ分、判任官ノ一等官千圓、二等官七百十三圓、三等官六百三十八圓、四等官五百六十三圓

○高橋委員長 一寸此間ニ御相談致シタイノデアリマスガ、此四號表ハ要スルニ修正ガ約倍ナノデアリマス、詳シイコトハ只今十年ノ分ヲ讀上ゲタ修正意見ガ出タノデアリマスガ、九年、八年、七年、六年トズツト修正ガアリマス、要スルニ是ハ約倍デアリマスガ、委員長ノ手許ニ出テ居リマスガ、之ヲ一々記スノモ何デアリマスガ、最モ修正ニ關係ハアルノデアリマスガ、後程御示ヲ致シテ宜シイノデアリマスガ、此處ヲ讀ムコトハ省略致シテハ如何デアリマス、修正案トシテ提出サレタコトニ致シテ宜シウゴザイマス、ソレデ御異議アリマセスカ、今ノ讀方ニ付テハ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○八田委員 今津野田君ヨリシテ増加恩給法ニ對スル即チ傷病癡兵ニ對スル恩給修正ガアリマシタガ、是ハ私ノ最モ賛成スルモノデアリマシテ、今日癡兵ガ悲慘ナル身體ヲ横タヘテ各地ヲ徘徊シテ居リマス者ヲ吾々ガ目撃シマスコトハ、非常ニ苦痛ヲ感ズルノデアリマス、國家ガ是等ノ者ニ對シテ斯様ナ職責ヲ盡シテ、サウシテ不具癡疾ニナツタ者ニ對スル恩給ノ不十分ナルガ爲ニ、彼等ガ衷々トシテサウシテ地方ヲ徘徊シテ居ル狀態ハ、社會ノ上カラ觀察シマシテモ大問題デアアル、社會政策上ニ於テ默過シ能ハザル問題デアリマス、特ニ近來軍事思想ト云フモノガ非常ニ緩ミ來テ、軍人ニ對スル尊敬心ト云フモノガ非常ニ薄ライデ居ル、汽車ニ乗ッテモ軍人ニ席ヲ讓ルト云フコトモ爲サズ、却テ身分ノアル人ニ對シテ侮辱ノ行動ヲ執ルヲ以テ壯ナリトシテ居ル、今日ノ狀況ハ實ニ國防ノ上カラ考ヘマシテモ困タモノデアアル、此傾向ヲ一掃スルニ非サレバ國防ノ基礎ヲ危クスルコトデアアル、大ニ此點ニ對シテ吾々ハ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、此時ニ當リマシテ戰國場裡ニ勇敢ナル勳キヲ爲シテ、淺シキ狀態ニ陥タ人ニ對シテ、優遇ノ途ヲ講ゼズシテ、彼等ガ生活ノ安定ヲ得ルダケノ給與ヲシナイト云フヤウナコトハ、今申シマシタル國防ノ上カラ考ヘマシテモ、忽ニスベカラザル大問題デアアルト考ヘマス、今津野田君ノ増額ノ修正案ヲ提出サレタル金額ヲ見マス、之ヲ歐米各國ノ傷病癡兵ニ比スレバ、未ダノ少イノデアリマス、英吉利アタリハ兵卒ノ一公傷ガ月二百圓、六公傷ガ四十八圓ト云フコトニナツテ居リマス、亞米利加ガ六公傷ガ二十四圓、邦貨デ四十八圓約五十圓、斯様ニシテ其金額カラ申シマス、津野田君ノ修正ノ第六公傷ガ年三百圓、月二十五圓ト云フコトデアリマス、未ダノ少イト考ヘルノデアリマス、此位ノ増額ヲ以テハ今日ノ狀況カラ申シマス、甚ダ僅少デアリマス、ケレドモ、私ハ津野田君ノ修正案ニ對シテ滿腔ノ同情ヲ以テ賛成スル者デアリマス

○長谷場委員 今更申スマデモナイ、本案ハ多年ノ重要ナル問題デアリマシテ、殊ニ此議會ニ於キマシテハ、最重要ナル法案ノ一ツデアルト吾々ハ信ズルノデアリマス、而モ吾輩ハ此問題ニ付キマシテハ多年苦心致シマシテ、種々修正ヲ致シテ居タノデアリマス、然ルニ幸ニモ此度ハ改正法律案ヲ得ナカッタノデアリマス、而モ各黨カラ建議案モ提出サレマシタノデ、今議會ニ於キマシテ非常ニ慎重審議協議致シマシタ結果、只今三善君及ビ津野田君ノ修正案ヲ吾々ハ提出致シタ次第デアリマス、一般ノ輿論カラ考ヘマシタナラバ、此増額ハ未ダ十分ノモノトハ信ジナイノデアリマス、併ナガラ今ノ財政ノ狀態其他ノ狀況ヲ考察致シマス、是レ以

上ノコトハ今日ノ場合到底不可能デアルト云フコトヲ信ジマスルガ故ニ、此修正案ニ對シテ滿場一致御可決アラムコトヲ希望スルノデアリマス、而シテ此案ガ可決致シマシタ以上ハ、本會議ニ於キマシテ滿場一致通過センコトヲ希望スルノデアリマス、無論通過シナケレバナラスト私ハ信ジマス、而シテ政府當局者ニ於キマシテモ、先般來ノ質問應答ニ依ッテ、略々吾々ト意見ヲ同ジウシテ居ルヤウニ察スルノデアリマス、隨テ此案ガ通過シテ成ベク速ニ此案ノ通りニ實行シテ戴キタイ、ソレニ付キマシテハ政府當局ハ如何ナル御意見デアリマス、吾々ト同様ニ即時ニ之ヲ實行シテ戴キタイト云フノガ希望デアリマス、此點ニ付キマシテ特ニ政府ノ御意見ヲ伺ヒイ

○高橋委員長 長谷場君ノ大藏大臣ニ質問ノ要點ト云フノハ、此修正案ニ同意サレルヤ否ヤト云フ事ト、ソレノ實行ハ何時カラ實行サレルカト云フ事デスナ

○市來國務大臣 今日ノ恩給額ガ少キニ過ギルト云フコトハ屢々申上ゲマシタ通りデアリマシテ、政府ト致シマシテモ、之ヲ増加スベキ提案ヲ早晩致サナケレバナラスト考ヘテ居リマシタ、政府提案ノ豫算案ニハ極テ其一小部分ヲ計上シタニ止マツテ居リマシテ、適當ノ機會ニ提案フスベク調査中デアリマシタ、然ルニ幸ヒ此委員會ニ於テ委員諸君ヨリ修正案ノ御提案ガアリマシタ、政府ニ於キマシテハ大體ニ於テ賛成ヲ表シマス、唯、財源ノ關係ニ付、只今ノ御演說ニ依リマシテモ相當ニ御考慮ヲ下サツテ居ルト云フ事ガ相分リマシタガ、特ニ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌ點ハ、只今ノ修正案ニ依リマスレバ、二千五百萬圓ノ金額ノ増加ニ相成ルト考ヘマス、是ハ政府ト致シマシテハ成ベク早く實行ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ケレドモ、一舉ニシテ此金額ノ全部ヲ或ル年度ノ豫算ニ計上致シマス事ハ甚ダ困難デアルト考ヘマス、既ニ舊キ歴史ニ於キマシテモ、數年ニ亘ル計畫ニ依リマシテ其全部ノ實行ヲ完了シタ事ガアルノデアリマシテ、丁度政府ノ今日ノ財政ノ狀態カラ考ヘマシテモ、全部ニ對スル計畫ヲ數年ニ分チマシテ、漸次恩給ノ増加ヲ行カウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、隨テ只今ノ修正案ガ私ガ今申スヤウニ、財政ノ狀態ニ鑑ミテ之ヲ數年ニ區分シテ實行フスルト云フヤウナ規定ガ更ニ附加サレンコトヲ希望スル次第デアリマス、最モ其手續ハ或ハ之ヲ勅令ニ讓ラレマシテ、數年間ニ全部完了スルコト云フコトヲ勅令ノ規定ニ委ネラレルト云フコトモ亦立法ノ適當ナ方法デアルト考ヘマス、左様ナ規定ガ出來マスルト云フコトヲ一ツノ條件ト致シマシテ、只今御提案ニナリマシタ修正案ニ對シテ大體ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○野村委員 私人一寸質問ヲ致シタイ、只今幾様ニモ修正
ガ出マシタガ、吾々ノ方カラモ修正ヲ出サウト思フテ居リマ
シタガ、大體ニ於テ今御出シニナツタ修正案ト一致シテ居ル
點ガ多イノデアリマス、ソコデ今御説明ニナツタ中デ、私等
ノ方トハ一致シテ居ルカモ知レズ、又相違シテ居ルカモ
知レナイカラ、其點ニ對シテ一二點間ウテ見タイと思ヒマ
ス、三善君ノ御説明中ノ軍人恩給ノ第一號表、是ハ三十年ノ
分トシテ色々修正案ト政府提出案ト間ノ數字ニ於ケル點ヲ
御示ニナリマシタガ、ソコデ伺ヒタイノハ一號表ニ於ケル全
體ノ大體ノ割合デアリマス、之ヲ現行ノ規定ニ對シテ二ツ
ニ割リマシテ、下士以下ニ對シテハドレ程ノ割合ノ増額ニ
ナツテ居リマス、又下士准士官以上ニ對シテハドレ程ノ割
合ニナツテ居リマス、大體ノ割合ヲ三善君ニ伺ヒタイ
○高橋委員長 三善君カラ御答ニナルトシテモ、非
常ニ複雑シテ居リマスガ、實ハ調ベタ物ガアリマスカラ差
上ゲルコトニシマセウカ
○三善委員 詳シイ事ハ委員長ノ方デ願ヒマスガ、大體ニ
於テハ三割五分デス
○野村委員 下士以下ハ大抵割合ハドシナモノデスカ
○高橋委員長 下士以下ハ三割五分デス
○野村委員 下士以上ハ年限ニ依ッテ違ヒマスガ、六割、
七割ニナツテ居ルノモアリマス
○野村委員 ソレカラ津野田君ニ一ツ伺ヒタイ、増加恩給
ノ方デアリマスガ、是モ現行法ニ對シテノ割合ハ准士官以
下ト以上ニ分ケテ、ドノ位ノ割合ニナツテ居リマスカ
○津野田委員 准士官以下ニ於キマシテハ約十割 以上ニ
於キマシテハ五割カラ七割ニナツテ居リマス
○長谷場委員 只今大藏大臣ノ御答辯ハ、此案ニ大體賛成
ノ意ヲ得マシタコトハ洵ニ吾々ノ満足スル所デアリマス、
併ナガラ其支出ニ於テ年度割云々ノ御話モアリマシテ、是
ハ甚ダ遺憾トスル所デアリマスケレドモ、今日ノ場合已ム
ヲ得ナイ事ト思ヒマスカラ、只今ノ御答辯ハ吾々ノ大ニ意
ヲ得タ事ト信ジマスカラ、ドウカ滿場ノ御賛成ヲ得タイト
思ヒマス
○高橋委員長 其次ハ……
○高橋委員長 牧野君一寸待テ下サイ、高木君ニ發言ノ順
ヲ讓ラレタラ如何デスカ
○牧野委員 宜シウゴザイマス
○高橋委員長 高木君
○通告ノ順ニ順ヒタイト呼フ者アリ
○高橋委員長 高木君ガ先キデス

○高木委員 私人先刻委員長ノ手許ニ修正案ヲ出シテ、今
此所ニアリマスガ、併シ大體數字ノ上ニ付テモ同一ノ歸著
デアル所ハ政友會ノ御提出ノ案ニ同意ノ出來ルモノハ同意
致シタイと思ヒマス、意味ニ於テ私ハ申シマスルト、第一、
四十二條ノ第一項ノ第三號ニ判任文官ノ下ニ雇員ノ二字ヲ
加ヘタイノデアリマス、雇員ノ事ハ先刻下ナツタカノ御話ニ
大分ノ金額ニナルノデ政府ハ容易ニ承認シナイ、既ニ雇員
ハ官吏トシテ文官ニナツテ、刑事問題ニ付テ官吏ト同ジヤウ
ナ諮問ヲ受ケル、所謂文官令ニ於テハ同一デアリマス、是モ
矢張判任文官ニ分ノ一ヲ計算スルト云フコト、入レナイト、
是ハ無理デアルト思ヒマスカラ、ソレ故ニ之ヲ加ヘタイ、議
會數年來ヲ通ジテ建議ハ雇員備員 備員ハ此度之ニ入
レタイノデアリマスガ、此方ハ政府ガ他ノ救済方法ヲ以テ
相當恩給法ニ準ジテ取扱フサレテ欲シイト云フ希望ヲ述ベ
テ先ヅ此場合ニ於テハ雇員格ヲ加ヘル、ソレカラ六十條、
六十二條、六十四條、是ハ先刻三善君ノ言ハレタ百五十條ノ
五十、私共此原案ニ二百四十條ノ六十トアルノ百八十ト直
シタイ、併シ是ハ何レデモ宜イ、寧ロ三善君ノ百五十條ノ五
十ト云フ方ガ極デ分リ宜イカラ、意味ニ於テハ矢張三割三
分ノ増ニナリマスレバ賛成デアリマス、此修正說ハ政友會
ト同案デアリマス、次ニ百條ノ教員及教育ニ關シタ所ノ
職員ハ、之ヲ一般ノ恩給法ニ依ルコトニシテ裁キタイト思
ヒマス、ソレカラ増加恩給ニ付キマシテハ、私共ハ此政府ノ
提案ノ二倍ト致シタイト思ヒマスルガ、是モ大體ニ於テ政
友會ト違ハナイ、御同意シテ一向差支アリマセズ、ソレカラ
一般軍人ノ第一號表ノ方ハ矢張之ヲ文官ノ増率ト同ジヤウ
ニ現在ノ恩給額ニ對シテ、三割三分ノ増加ヲシタイ、唯一
ツ先刻百五十條ノ五十ト三善君ノ仰セラレタ中ニ、何デ
アリマシタカ一寸聽洩シマシタガ、三百分ノ一ト云フ箇條
ガアリマシタ、私共或ハ細カニ申シマシタナラバ政友會ノ
御說モ多少理由ハ無論持テ居ラレマセウガ、恩給ノ上デハ
何分ハ同一ニシテ、矢張百五十條ノ五十デモ、二百四十
ノ八十デモ同ジシハ待遇方法ニシタイト思ヒマス、ソコガ
政友會ノ方ト違フ、ソレカラ最後ニ一ツ申上ゲタイノハ、只
今大藏大臣ハ政友會ノ提出ノ案ニハ大體ニ於テ同意ヲスル
政府ハ勿論恩給ノ増加ト云フコトハ今日ノ時代ノ要求デア
ルト云フコトハ相當ニ認メテ居ル、但施行期限ハ財政ノ狀
態モアルカラ、勅令ニ任セルヤウニシテ欲シイト云フコト
デアリマス、私共形式ニ何モ恩給増加ト云フコトヲ、慰安ノ
上ニ認メラレサヘスレバ満足ガ出來ルト云フ今日ノ狀態デ
ナゲ、是ガ來年度ニ全然延スナラバ、何モ今年議スル必要ハ
ナイ、社會一般ノ狀態ガ生活ノ脅威ヲ受ケテ居ルト云フ程
度ガ、殊ニ此恩給者ノ上ニ於テ酷イノデアリマス、文官ノ方

ニ於テモ先日本議場デ私ガ申上ゲタ通り、未ダ今日ノ如ク
通貨ガ下落シテ居ナイ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ物價ガ騰貴シ
ナイ時代ト、今日ノ時代トデハ其歩合ガ違フ、是ダケノ理由
デモ恩給増加ハ此點ニ於テモシナケレバナラヌト云フコト
モ申上ゲタノデアリマス、又軍人ニ於キマシテハ文官ト違
テ、其資格ヲ持續シナケレバナラヌ、殊ニ軍縮ノ行ハレマス
ル時ニハ、財政ノ整理ノ行ハレル時ニハ、殊ニ恩給問題ハ退
官者ニ對シテ相當ニ生活補助ト云フモノヲ與ヘナケレバ、
今日爲スベキ改革ト云フモノガ、是ガ爲ニ出來ナイコトニ
ナル、是ガ恩給増加ノ理由デアラズ、其施行ハ來年ニ
ナルカ再來年ニナルカ分ラヌ、私共大藏大臣ノ健在ヲ望ム
ノデアリマスガ、大藏大臣ノ來年ノ財政ニ御與リニナルカ
ナラヌカ分ラヌ、是ハ決シテ人格ヲ疑フ譯デモ何デモナイ、
現内閣ハ綱紀肅正ヲ言ヒ、財政行政ノ整理ヲ仰シヤツタガ、
實行ガ十分出來ナカッタト云フ實例ニ徴シテモ、政府ノ御聲
明ハ悉ク之ヲ信ジ得ルト云フコトニハ吾々ハ思ヘナイノデ
アリマスカラ、是非共只今改正案トシテ御提出ニナツタ方ニ
同意ノ出來ル點ハ同意シマスルガ、其施行期日ハ是非共文
官ト一般ノ軍人恩給ニ付キマシテ、増加サルベキ三分ノ一
ダケ位ハ、十二年度ニ於テ直ニ追加豫算ニ出サレンコトヲ
望ムノデアリマス、後ト殘額ハ出來ルナラバ明年更ニ出
シ、ノンペンクラリト何時マデモ延スルト云フコトデハ、增加
恩給ヲ要求シタ甲斐ガアリマセヌカラ、其執行期日ハ勅令
ニ任セルコトハ異存アリマセヌガ、成ベクナラバ本年、明年
ニ徹底シタイト思ヒマス、少クトモ三分ノ一、増加恩給ニ對
シテハ是非半額ヲ、本年度ニ於テ之ヲ追加豫算トシテハ御
提出ニナリ、殘餘ノ方ハ先ヅ勅令ニ依ル、併シ是ハ是非共此
半分ハ御出シニナルト云フコトニシテ欲シイトデアリマス、
ソレカラ確カ申上ゲタガ、百條ノ教員職員ノ事ハ矢張一般
ノ恩給法ニ依ルコトニシテ欲シイト思ヒマス、以上ガ修正
ノ趣意ノ大體デアリマスガ、私共ノ案ニハ二百四十條ノ八
トアリマス、是ハ百五十條ノ五十ト云フ方ガ分リ宜イ、
増加率ニ付テハ政友會案ニ賛成スル、異議ハアリマセヌ、但
シ細カイ點ニ付テハ政友會ガ御提案ニナツテ居ラヌ、只今申
上ゲタ施行期日ノ事モ是非共文官其他ニ付テモ三分ノ一、
増加恩給ニ付テハ二分ノ一ヲ本年ニ於テ追加豫算トシテ御
提出ニナツテ欲シイ、是ガ政友會ト違フト思ヒマス、此恩給
法ヲ改正スル必要ハ、元ト時代ノ要求ト、切迫セル事情トデ
アル、ソレガ本年實行ニナラヌト云フコトデハ、恩給法ノ
改正ハ、全ク空文ニ終ル、特ニ此事ヲ申上ゲテ置キマス
○長谷場委員 先刻大藏大臣ノ御答辯中、支出ハ年度割ニ
ナサルト云フヤウナ御答辯デアリマシタケレドモ、無論十
二年ニモ相當ノ支出ガアルモノト考ヘマシテ、私ハ之ニ同

意ヲ致シタノデアリマス、只今尙ホ重ネテ御尋致シマスル
ガ、十二年度ニ大藏大臣ハドノ位ノ支出ヲ爲シ得ル御見込
デアリマス、御答辯ヲ願ヒマス

○三善委員 只今高木君カラ年度割等ニ付テ御陳述ガアリ
マシタガ、大體今回ノ恩給増額ノ事ニ付テハ、本年ノ一月頃
カラ本員ハ此議場ニ建議案ヲ提出スル以前カラ非常ニ努力
シテ、當局ニモ交渉シテ居ルノデアリマスガ、勿論高
木君ガ言フ迄モナク本年度ニ於テ政府財政ノ餘裕ガ有レバ
本年度カラ施行シテ貰フ希望デアル、十分徹底ノ上ニモ徹
底スルヤウニ交渉シテアリマス、ドウカ其邊ハ御氣遣ニナ
ラスヤウニ願ヒマス、併ナガラ當局ニ於テハ國庫財政ノ許
ス範圍ニ於テ、本年度カラ多少ノ増額ヲスルト云フ先刻ノ
大藏大臣ノ答辯デアッタト思フ、私ハ左様考ヘル、決シテ高
木君ノ如キ御心配ハ要ラヌト思フ

○高橋委員長 高木君ノハ希望若クハ議論ノヤウデアリマ
シタガ、長谷場君ノハ政府ノ御尋ノヤウデアリマシタ、即チ
十二年度ニ此修正案ニ對スル財源ヲ幾分出シテ下サルコト
ガ出來ルカ、ドノ位ノ額ヲ出シテ下サルコトガ出來ルカト
云フ御質問ノヤウデゴザイマシタ、ソレニ對シテ御答辯ガ
出來マスナラバ御答辯ヲ煩シマス

○市來國務大臣 御答辯シマス、只今提案ニナッテ居リマス
恩給ノ増額ニ對シ、政府ハ出來ルダケ早ク之ヲ完成シタイ
トハ考ヘテ居リマスガ、前申上ゲル通り今日ノ財政上カラ
考ヘマシテ、殊ニ十二年度ノ財政計畫ヲ完了致シマシテ、財
源トシテ多額ノモノガ殘リ居ラス今日デアリマス故ニ十
三年度ノ豫算編成ニ入りマスレバ十分ニ充實スベク考ヘテ
居リマスデアリマス、併ナガラ茲ニ修正案モ出マシテ、尙ホ
諸君ノ御意見ノ在所モ十分ニ同情ヲ持ッテ居リマス、隨テ
今日ニ於テ色々出來ルダケ工風ヲ致シマシテ、次ノ様ニ致
シタイト考ヘマス、即チ大正十二年度ニ於テ四百萬圓ヲ限
度ト致シマシテ、追加豫算ヲ提出致シタイト考ヘマス、尙ホ
引續キマシテ數年ニ亘リマシテ此恩給増加ノ全部ヲ實行シ
タイト考ヘマス、故ニ先程私ガ條件トシテ希望致シマシタ
點、即チ法律ノ規定ニ於テ又ハ勅令ノ規定ニ於テ、年度割ニ
依ッテ全部ノ完了ヲ期シ得ルト云フ意味ノ修正ヲ加ヘラレ
ンコトヲ希望致ス次第デアリマス

○牧野委員 只今三善君並ニ津野田君ヨリ恩給増額ニ關シ
テ政府提出案ノ修正案ヲ提出セラレマシタ、私ハ更ニ從來
ノ委員會ノ質問應答ニ鑑ミマシテ、四五箇條ニ亘ル修正ト
法文ノ統一上ニ一二ノ些細ヲ修正シテ試ミタイト存ジマス、即
チ第二條中「一時扶助料及一時給與金」トアリマスノ「及」
一時扶助料」ダケニ改メマシテ、後ノ「及」一時給與金」ヲ削
除致シタイト存ジマス、是ハ本案ニ規定シマス一時給與金

ハ文官ノ死亡賜金ニ該當スルモノデアリマス、是ハ給與令
中ニ規定シマスノガ相當ト認メラレマスカラ、第二條中「一
時給與金」ノ字句ヲ削リマシテ、隨テ又同様一時給與金ニ關
スル規定第八十三條並ニ別表第五號ヲ削除致シタイト存ジ
マス、次ニ第六條ニ關シテ第六條第二項中「宮内省」トアル
ヲ「第四十二條第一項第一號ニ規定スル宮内職員」ニ改メマ
ス、是ハ統一上ノ修正デアリマス

○高橋委員長 一寸牧野君ニ御尋シマスガ、第二條中ニハ
「一時扶助料及一時給與金」ト云フ箇處ガ二箇所アリマス
ガ、二箇所トモ削ルノデスカ

○牧野委員 サウデス、ソレカラ第十八條第一項中「但」ノ
次ニ「府縣費ヨリ俸給ヲ給スル文官」ソレダケ加ヘタイ、其
理由ハ從來公立學校職員ノミガ國庫ヘ納付金ヲ納メルコト
ニナッテ居ルノデアリマスガ、本案ニ依ルト準判任官ニ對シ
テ府縣ハ國庫納付金ヲシナケレバナラヌコトニナッテ居リ
マス、僅カナ負擔デアリマスケレドモ、是ハ府縣ノ負擔ヲ輕
減スル意味ニ於テ、是ヲ除外ヲ求メタイト云フ趣意デアリ
マス、次ハ第三十二條ニ關スル修正デアリマス、三十二條ノ
二項ヲ削ルノデアリマス、ソレカラ同條ノ第三項中「前二
項」ト云フ「前項」ト改メマス、是ハ內國戰ニ在リテハ其
二分ノ一ト云フ制限ヲ省カウト云フノデアリマス、此規定
ガアルノハ、從來ノ規定ヲ踏襲シタト云フ政府委員ノ答辯
デアリマス、將來空中戰爭ヲ豫期スル時ハ、内外戰ニ依リ加
算ノ價值ニ差等ヲ附スルノハ相當デナイ、且ツ加算ノ性質
上職務加算ニ内外ノ區別ヲ廢スルノヲ至當ト認メテ、此修
正意見ヲ提出シタ所以デアリマス、更ニ第七十九條ニ行キ
マシテ、是ハ僅カナ注文ノ字句ニ關スル法制局の修正ニ過
ギナイノデアリマス、七十九條ノ「理由アル場合」ニ次順位者
在ルトキハ「トアリマスガ、此在」ノ字ハ「ア」字ニ致シタイ
ノデアリマス、是ハ誤植トハ思ヒマスガ此場合申上ゲテ置
キマス、ソレカラ第九十一條ニ行キマシテハ、先程第三條ヲ
削除シタ結果、九十二條ガ九十一條ニナル譯デアリマス、此
條ノ「在勤シタルトキハ」ノ次ハ「當分ノ内」ト云フ四字ヲ入
レタイノデアリマス、本條ハ植民地在勤者ノ加算規定デア
リマスガ、斷定的ノモノデアリマスカラ、此四字ヲ入レルガ
相當ト思量スル次第デアリマス、本員ノ修正意見ハ大體右
ノ如クデアリマス

○三善委員 今八十二條ノ修正ガ一寸落チマシタカラ申上
ゲマス、八十二條ノ「文官教育職員又ハ待遇職員在職年一
年以上十五年未満ニシテ死亡シ」ノ次ハ「又ハ警察監獄職員
在職年一年以上十五年未満ニシテ死亡シ」云々此修正ハ委員
長カラ御說明ヲ願ヒマセウ

○高橋委員長 ソレデハ委員長カラ申上ゲマス、八十二條
ハ「文官教育職員又ハ待遇職員在職年一年以上十五年未満
ニシテ在職中死亡シ」トアリマス、其次ハ「又ハ警察監獄職
員在職年一年以上十五年未満ニシテ在職中死亡シ」ト云フ字
ヲ入レテ其アトガ「死亡シタル場合」ハ其遺族ニ一時扶助料
ヲ給ス「ト云フコトニナル、ソレカラ其次ノ項デアリマス、前
項ノ一時扶助料ノ金額ハ左ノ各號ニ依ルトアリマス、是ハ
「公務員死亡ノ當時ノ俸給月額ニ相當スル金額」ニ其ノ公務
員ノ在職ノ年數ヲ乘シタル金額トス」ト云フ文字ニ此「左ノ
各號ニ依ルト」ト云フヲ削リテ、是ダケノ文字ヲ加ヘル、即チ
「前項ノ一時扶助料ノ金額ハ左ノ各號ニ依ルト」ト云フ「左ノ各
號ニ依ルト」ヲ削リテ「公務員死亡ノ當時ノ俸給月額」ニ其ノ公務
員ノ在職ノ年數ヲ乘シタル金額トス」ト云フ文字ヲ入レ
ル、此方ガハッキリ明瞭デ法律的ナンドデアリマス、ソレカラ
第三項ニ斯ウ云フヲ加ヘル「下士以上ノ軍人在職年一年以
上十五年未満ニシテ在職中死亡シタル場合」ハ其ノ遺族ニ
一時扶助料ヲ給ス「ト云フヲ削リテ「前項ノ一時扶助料ノ金額
ハ死亡者ノ階等及在職年數ニ依リ定メタル別表第四號表ノ
金額トス」ト斯ウシマシテ、ソコニ書イテアル「小學校實業
補習學校幼稚園」云々ト云フノハ、ズット終ヒマデ削リシマ
フ附則ト云フ文字ノアル所マデ全部削リシマフ、理由ハ
後カラ申上ゲマス

○仙波委員 一寸第九十二條デ「南滿洲鐵道附屬地ヲ含ム
樺太又ハ南洋群島」一定ノ期間引續キ在勤シタルトキハ在
勤期間ノ一月ニ付半月ヲ加算ス「トアル、是ハ半月ハ不足デ
アル、是ヲ御拵ヘニナッテ方ハ無論其土地ニ御出ニナラナイ
ノデ御尤モコトデアリマスガ、樺太デ申シテ所ガ年中四箇月
ヲ除クノ外全ク氷雪ノ中デ糧車ニ乗ッテ始終運搬ニ從事ス
ル、交通ニ從事スル、一通リヤ一通リノ困難デハナイ、内地ニ
居ルト向フヘ行ッテ見タトハ全ク所見ヲ異ニシテ居ル、私ハ
實際非常ナル感ジヲ持チマシタ、ドウゾ是ハ一箇月ノ
加算ト云フコトニ願ヒタイ、モウ一ツ南洋、是モ大ニ考ヘナ
ケレバナラス、南洋ヘ行ッテ居ル者デ健康ヲ害シナイ者ハナ
イ、彼ノ炎熱非常ナル處デ以テ、全ク不毛ナ地デ野菜ナドハ
食フコトハ出來ナイ、ソレガ爲ニ南洋ニ行ケバ氣管ヲ損ス
ル、土地ノ病ニ罹ルト云フノハ行ッテ者ハ殆ド全部デアル、
現ニ私モ既ニ最モ愛シタル親族ノ海軍ノ少佐ヲ此間失ッ
ガ何カト申セバ南洋ニ於テ健康ヲ損シタ人ハ私ノ今ノ一人
ニ限ラズ、彼ノ下士卒ニ至ッテモ南洋ヘ行ッテ健康ヲ害シ
ナイ者ハナイ位、斯ウ云フコトハ實地ヲ御調査ノ上デ法ヲ立
テラレンコトヲ希望スル、ダカラ私ハ此樺太及南洋ハ在勤
年月一箇月ノ外ニ一箇月ヲ更ニ加算スルト、是ダケヲ修正
シタイ

○野村委員 是ハ極簡單デスカ、只今三善カラ修正ガ出マ

シテ一定ノ年限中ノヲ給與スト云フ、斯ウ云フ箇條ヲ一ツ加ヘタイノデアリマス、是ハ全ク恩給法ノ新ナル事項デアリマスガ、私共同僚ノ中ニモ此意見ヲ持ツテ居ル者モアリマス、私モ此意見ハ時代ニ適シタモノト思ヒマスカラ、文章ニハナッテ居リマスガ、斯カル意味ニ於テ恩給法ノ中ニ一箇條ヲ加ヘテ置キタイ、殊ニ物質的ノ今日ニアッテハ、此部分ハ考慮スベキコト、考ヘマスカラ申上グルノデアリマスガ、何卒閣員ニ於テモ、此事ハ陸海軍ノ士氣ノ上ニ非常ニ影響ヲ及ボスコトデアリマス、若シ私ノ申スコトガ多少ナリトモ道理アリト御考ヘニナリマシタラバ、文章ハ如何様デモ宜シイカラ、戦死者ハ一時手當ヲ受ケルダケデアラガ、而モ彈丸雨注——機關銃ノ彈丸ノ中ニ飛込ムト云フ今日ノ時代デアッテ、士官ガ先キニ立ッテ戦闘シナケレバ戦争ガ出來ヌモノデアリマス、其場合ヲ豫メ考ヘテ國家ガ待遇法ヲ決メ、今後ニ於テ相當ノ待遇ヲシテヤリタイ、斯ウ考ヘマスルカラ此修正條項ヲ申上グルノデアリマス

○入江政府委員 私ノ聽達ヒカ知レマセヌガ、今ノ御話デハ若イ士官、兵隊ガ戦争ニ行ッテ、先キニ立ッテ討死シタ時ニハ何等恩給カナイ、是ハ不都合デアラカラ、相當ノ恩給額ヲ支給シロト云フヤウニ聽キマシタガ、果シテサウデアッタラ高木代議士ハ誤解ヲシテ居ラレト思ヒマス、現行法ニ於キマシテモ戦争ニ行ッテ討死シタ者ハ、假令其在職年限ガ十一年ニ滿タズトモ、一年デアラウガ半年デアラウガ、苟モ戦争ヘ行ッテ戦死シタナラバ、十一年額ノ恩給ノ全部ヲ遺族扶助料トシテ其遺族ニ支給スルコトニナッテ居リマス、本法ニ於テモ第七十五條ノ第一項ニ於キマシテ、恩給ノ全部ヲ遺族扶助料トシテ給スルコトニナッテ居リマスカラ、ドウカ御安心ヲ願ヒマス

○高橋委員長 高木君、分リマシタカ——三浦君

○三浦委員 私モ修正意見ガアリマスガ、之ヲ前ノ方カラ申シマス、第九條ノ三項ノ「國籍ヲ失ヒタルトキ」、恩給ヲ停止サレル場合デアリマス、是ハ國籍ヲ失フコト云フコトハ種々ナ事情モアリマセウガ、中ニハ外國ニ行ッテ向フ人ニナルト云フヤウナ人モ澤山アルヤウデアリマス、是ハ日本ニ居リマス時分ニ相當ニ戦功ノアツタ者デアリ、又勳功ノアツタ者デアリマスレバ、假令國籍ハ失ヒマシテモ恩給ハ給スベキモノデアラウト思ヒマス、外國人デアッテモ現ニ二十九名デアリマスガ、日本ノ恩給ヲ受領シテ居ル者ガアリマス、ドウカ此第三項ダケハ削除シタイト思ヒマス、ソレカラ第十一條ニ於キマシテ「恩給ヲ受ケルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス」是ハ削除シタイト思フノデアリマス、過日來カラ段々議論モアリマシタガ、恩給證書又ハ年金證書等ハ、當然現行ノ法律ニ依ッテハ書入質入等ハ出來ナ

イ管デアリマスケレドモ、過日政府委員カラ御答辯ニナリマシタ通り、約二割位ハ高利貸等ノ手ニ入ッテ居ルト云フコトデアリマス、私ノ調査致シマシタ所デハ、將校ダケノ部分デアラウガト思ヒマスガ、下士兵卒ニ至リマシテハ約八割ニナッテ居リマス、是ハ今此事ヲ嚴禁シテ居ッテモ、尙ホ斯ノ如キ狀態デアラカラ、之ヲ解イタナラバ殆ド皆サウ云フコトニナッテシマフカモ知レナイ、サウシタナラバ一旦恩給ヲ貰ッテ者ガ又再ビ食ヘナイト云フコトニナル、ソレニ又重ネテ政府ガ恩給ヲアル譯ニイカナイカラ、何處マデモ是ハ禁止置カケレバナラヌト云フ御答辯ノヤウニ伺ヒマシタ、併シ此法律ガアル爲ニ、銀行トカ或ハ其他ノ低利ノ金ヲ借りルト云フコトモ出來ナクテ、其法網ヲ潛テ、サウシテ高利貸ノ手ニ移ッテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、若シ之ヲ解カレマシタナラバ、之ヲ融通スル場合ニ於テ公然ト銀行ナリ或ハ其他ノ低利ヲ、之ニ依ッテ借りルト云フヤウナ融通ガ付イテ來ルノデアリマスガ、一旦高利貸ノ手ニ入ッタナラバ、終世戻ラヌヤウニ今日ナッテ居ルノデアリマスカラ、寧ロ之ヲ削除シテ、サウシテ銀行等ノ擔保ニ入レル、或ハ抵當ニスルコト云フヤウナコトヲ許シタ方ガ却テ宜カラウカト思ヒマスカラ、此條項ハ削除シタイト思ヒマス、ソレカラ第三十一條ニ「警察監獄職員ノ恩給額ニ付其ノ在職年ヲ計算スル場合ニ於テハ十年ニ達スル迄ハ云々」トアルノデアリマスガ、是ハ何トカ考慮スルコト云フ、此間政府委員ノ御話モアツタヤウデスカラ、是非共是ハ十一年、或ハ又軍人ノ如ク短縮シテ十年、軍人ト同様ニシタイト云フ考デアリマス、サウ云フコトニ修正シタイノデアリマス、ソレカラ三十二條ニ於キマシテ「戦地ニ在リテ戦務ニ服シタルトキハ從軍期間ノ一月ニ付三月」、ソレカラ「戦地外ニ在リテハ戰務ニ服シタルトキハ其ノ期間ノ一月ニ付一月半」前項ノ加算年ハ內國戰ニ在リテハ其ノ二分ノ一トス」トナッテ居リマスガ、是ハ戰地外ニ於テ戰務ニ服シタルキニモ矢張其期間ヲ三箇月ニシタイ、ソレカラ内地ニ於テ戰務ニ從事シタ場合モ、同様ニ一律ニシタイノデアリマス、ト云フハ内地デモ戰地デモ矢張戰務ニ服シタルコトハ同ジ事デアリマス、内地デハ多クハ事務ニ服スルノデアルカラト云フ御話デアリマシタガ、併ナガラ是ハ事務ノミニハ限ラヌノデアリマス

○高橋委員長 三十二條前項ノ加算年ハ政友會ノ諸君ノ提案ノ中ニモ出テ居ルカラ、是ハ一致シタ譯デスカ、三浦君ノ新シイ修正意見ハ、三十二條ノ第二項ヲ第一項ト同ジヤウニスルト云フノデスカ、詰リ兩方同ジク三月トスルト云フノデスカ

○三浦委員 サウデス——次ハ四十六條「公務員公務ノ爲傷

痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具癈疾ト爲リ失格原因ナクシテ退職シタルトキハ之ニ普通恩給及增加恩給ヲ給ス」是ハ不具恩給ト云フコトニシテ所謂增加恩給ナルモノヲ普通恩給ト切離シテシマヒタイ、一ツニ分ケタイト云フ意見デアリマス、增加恩給ヲ不具恩給ト改メタイノデアリマス

○高橋委員長 「不具恩給ヲ給ス」トスルノデスカ

○三浦委員 サウデス——次ハ四十九條「公務員公務ノ原因ヲ分ッテ戦闘又ハ戦闘ニ準ズキ公務ト普通公務トス」是ガ二ツニ分ケテアリマスガ、戦闘ニ準ズベキ公務ト云フノハ、澤山是迄アルノデアリマスガ、齊シク戦地ニ於キマシテ、一例ヲ舉ゲテ見ルト、戦線ニ於テ彈丸或ハ砲彈ヲ運ブ間、途中デ破裂シテ負傷スルト云フ例ハ實戰ニ於テアルノデアリマス、是ハ戰闘ニ準ズベキ公務デアリマセウガ、斯ウ云フコトニ區別セズシテ、齊シク戦死戰傷ト云フコトニ致シタイノデアリマス、公務ト戦務ヲ一緒ニシタイノデアリマス

○高橋委員長 戦闘ニ準ズベキ公務ト云フノデスカ

○高橋委員長 ドウモ文章ノ工合ガ悪いヤウデスカ、是ハ後ニ何トカ相談シテヤラナケレバナラマセヌナ

○三浦委員 「戦闘又ハ普通公務トス」詰リ戦闘ニ入レテシマフノデスカ、條文ニ付テハソレダケデアリマス、ソレカラ第一號表ニ於キマシテ私ノ調査致シマシタコトハ、士官以上親任官マデノ間ヲ三割、准士官以下ヲ三割五分ト云フコトヲ基準ニシテ調査致シタルデアリマス、所ガ下士以下ノ所デ、大概一年ヲ増ス毎二年々七圓ノ増加ニナッテ居リマスガ、ソレガドウ云フ譯デアリマスガ、先キヘ行ッテ見ルト四圓五圓ト云フノガアッテ、現行法ハ一律ニ行ッテ居ラス所ガアル之ヲ一概ニ三割ト云フコトニスルト計算ガシ惡イヤウニナルノデアリマスガ、凡ソ士官以上ヲ三割、准士官以下ヲ三割五分ト云フコトニ調査致シマス、先程三善君カラ御提案ニナッテハ大同小異デアリマス、多少私ノ方ガ多イ所モアリマス、是ハ又後ニ又御相談ヲ致シテ、大同小異ノ點ハ御譲リ致シタイト考ヘテ居リマス、要スルニ恩給法ノ改正ハ増額ト云フコトガ吾々ノ目的デアリマス、増額ノ目的ヲ達サヘスレバ、多少ノ相違ハ無論妥協モ出來ル、政友會ニ限ッテ此案ヲ提案サレルトカ、吾々ガドウスルト云フコトデナクシテ、政黨政派ニ超越シテ恩給法デナクテハナラヌ、政友會ノ地盤ニモ軍人、文官ノ罷メタ者ガアル、吾々ノ地盤ニモ同様デアラカラ、是ハ我黨ガドウト云フヤウナコトハ如何デアラウカ、私共モ三年以前カラ之ヲ主張シテ居ルノデアリマス、大概ニ譲合ッテ、相當ノ所ニ妥協ヲシテ總メテ戴キタイト云フコトヲ希望致シマス

○三善委員 只今三浦君カラ大體ニ於テハ同意デアラガ、

此問題ニ付テハ政黨政派ノ區別ハナク、協同一致デヤラナ
ケレバナラヌ、ソレハサウデアアル、此問題ヲ以テ政黨政派ノ
黨爭ノ具ニ供シテハ居ナイ、併ナガラ我黨ガ卒先シテ此改正
ヲヤラウト云フ、我黨ガヤラナカッタラドウスル、君等幾ラ
言フテモ駄目デヤナイカ

○高橋委員長 暫時休憩シテ話合テ、成ベク一致シテヤツ
タラドウデアリマス

〔賛成「ト呼フ者アリ」〕

○高橋委員長 ソレデハ暫時休憩致シマス
午後四時一分休憩

午後四時十九分開議

○高橋委員長 會議ヲ引續キ開キマス

○高橋委員長 先刻本案ノ大體ニ付キマシテ意見ヲ申上ガ置
キマシタガ、其中大部分ハ政友會ノ御提案ニ譲リマシテ、唯
々第四十二條ニ屬員ヲ入レルコト、百五條ノ次ニ一條ヲ設
ケテ施行期日ヲ定メルコト、其施行期日ヲ定メル意味ハ、増
加セラレタル恩給額ノ三分ノ一ハ十二年度ニ於テ之ヲ支給
シ、殘ル所ノモノハ勅令ヲ以テ其施行期日ヲ定メルコト云フ、
斯ウ云フ意味ノ法案ヲ一箇條加ヘタイ、斯ウ云フノデアリ
マス

○八田委員 既ニ政府ニ於テハ三善君ヨリノ修正案、津野
田君ヨリノ修正案ニ對シテハ同意ノ意思ヲ表サレテ居ルノ
デアリマスガ、其後ニ至リマシテ牧野君ヨリ法文ノ各條ニ
互テツレ、文字ノ修正ガアリマシタ、隨テ恩給方面ニ關
係ガアツテ、經費ノ計上等ニ關係ヲ有スル問題デアリマスガ
ソレニ付テ政府ノ御意見ヲ確メテ贊否ヲ表シタイと思ヒマ
ス

○市來國務大臣 牧野君ノ修正案竝ニ三善君ノ第二回ノ修正
案、之ニ對シマシテハ大體ニ於テ政府ハ贊成ヲ表シマス

○三浦委員 私ハ今高橋君ノ述ベラレタコトニ贊成シタイ
ト思フノデアリマスガ、此恩給ノ増加ト云フコトハ、目下生
活ノ不安定ト、非常ニ廢兵等ガ困窮シテ居ルコト云フ所カラ
出テ來タノデアリマスカラ、少クモ三分ノ一ハ本年度ニ
是非共頭ヲ出シテ貰ヒタイト云フコトヲ主張致シマス、サ
ウシテ他ハ成ベク五箇年以内ニ、政府ノ財政計畫ノ出來次
第二、成ベク早ク之ヲ支給スルコト云フコトニシテ裁キタイ、ソ
レカラ雇員モ亦先刻高橋君ノ述ベラレタ通りニ加ヘラル、
コトガ相當デアラウト思ヒマス、是ハ前カラ議論ノアルコ
トデアリマスカラ、是非共之ヲ加ヘルト云フコトヲ主張致
シマス

○市來國務大臣 私ハ此際修正案ノ實行ニ付キマシテ、重
ネテ一言申シテ置キタイト考ヘマス、高橋君竝ニ三浦君ノ

實行ノ時期ニ付テハ修正ノ御意見ガゴザイマスガ、先程申
上ガマシタ通りニ、政府ハ此際大正十二年度ノ追加豫算ト
シテ四百萬圓ノ限度トシテ支出ヲ致シマス、其計畫ヲ持ッ
テ居リマス、尙ホ以後ニ於テハ數年ニ亘ッテ完成スルコトヲ努
メマス、尙ホ増加恩給ノ完成ヲ成ベク早クト云フコトニシ
タイ、大體左様ニ考ヘマス、是ハ政府ノ今日ノ財政狀態ニ於
テ出來得ルダケノ努力ノ結果デアルト云フコトヲ御了承ヲ願
ヒタイト思フノデアリマス、事實上ニ於テ出來マスルナラ
バ尙ホ考フベキデアリマスガ、今日ノ財政狀態ハ到底此以
上ニ支出額ヲ増加スルコトヲ許シマセヌノデアリマス、政
府ト致シマシテ出來ルダケノ工夫ヲ致シマシテ申上ガマシ
タヤウナ計畫ヲ實行シタイト考ヘマス、何卒政府ニ對シテ
モ十分ノ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ私ハ此機會ニ
於テ恩給ヲ受クル人々、殊ニ増加恩給ヲ受クル人々ニ對シ
マシテ、滿腔ノ同情ヲ表スルト云フコトヲ申述ベテ置キマ
ス

○三善委員 只今三浦君ナリカラ十二年度ニ於テ三分ノ一
位ヲ支給シテ貰ヒタイト云フコト、雇員ノ事ヲ申サレ
マシタガ、先刻カラ私ガ申シマス通りニ、富ハ今回恩給増額
ニ付キマシテハ、私ハ陸軍當局ニ參ッテ大分難題ヲ致シテ、
サウシテ今日迄進シタノデ我黨ノ努力ニ依ッテ出來ルダケ
ノ事ヲヤッテ居ル、是レ以上出來ヌト云フコトハ知ッテ居ル、
難キヲ強ユルコトハ出來マセヌ、出來得ル限りノコトヲヤッ
タモノデアルト云フコトヲ御承知置キテ願ヒタイ

○高橋委員長 委員長トシテ本會ニ報告スル必要上、一寸
政府ニ確メテ置キタイコトガアリマス、四百萬圓ノ此修正
案ニ依ッテ、文武官竝ニ増加恩給ノ爲ニ追加豫算トシテ大正
十二年度ニ支出スルコト云フコトデアアルガ、此完成ノ時期
ハ從來五箇年、即チ大正十三年度カラ數ヘテ五箇年、大正十
二年度ヲ入レバ六箇年位ノ所デ完成セラレル御見込デアリ
マスガ、其完成セラレル時期ヲ承ッテ置キタイ、將來十三
年度カラ五年ト見テ宜シウゴザイマスガ

○市來國務大臣 大正十二年度ヲ込メマシテ凡ソ六箇年
位、是ハ概略ノ見込デアリマス、成ベク早ク完成シタイト考
ヘマス、ソレハ努力ムル積リデアリマスガ、今日ノ所デハ大正十
二年度ヲ如ヘレバ六箇年、大正十三年度カラ五箇年、此位ヲ
程度トシテ完成時期シタイと思ヒマス

○高橋委員長 ソレハ成ベク早ク完成サスルコトニ努力ス
ルト云フ前提ノ下ニ於テデスナ

○市來國務大臣 其通りデアリマス

算ニ出テ居リマスノハ勿論デアリマスガ、其四百餘萬圓ノ
内、増加恩給ニ振向ケラレル分ハ約幾ラノ御見込デアリマ
スカ、是ハ恩給局長ノ方ガ却テ分リ易イト思ヒマスガ、
ソレカラサウスレバ後トハ増加恩給ノ完成ハ、大正十二年
度ニ追加セラレベキ金ト、大正十三年度ニ後ノヲ全部提出
サレテ完成スルコト、ナルノデアリマセカ、若クハ大正十
四年度ニ跨ガルデアリマセウカ、是ハ大正十四年度ニ跨ガ
テハ甚ダ宜シクナイ、是ダケハ困ッテ居ルノデアリマシテ、
最早漸次死亡率ガ高マッテ參リマスカラ、成ベク速ニ完成シ
タイト云フコトガ全員ノ希望ノヤウデアリマス、就テハ成
クナラバ大正十三年度ニ完成スルヤウニ致シタイと思ヒマ
スガ、政府ノ御胸算ハ如何デスカ、ソレヲ確メテ置キマス

○市來國務大臣 方針ト致シマシテ増加恩給ハ成ベク速ニ
之ヲ完成セシムル、隨テ只今ノ委員長ノ御趣意ニハ成ベク
副フヤウニ努メタイト考ヘマス

○高橋委員長 了承致シマシタ

○松實委員 一寸先刻三善君ノ屯田兵ノ事ニ付テ修正ノ御
意見ガ出テ、本員モ之ニ贊成ヲ致シタノデアリマスガ、能ク
此法文ヲ考ヘテ見マスル「屯田兵ノ現役ニ服シタル」斯ウ
云フ風ニ書カレテアリマスガ、北海道ノ屯田兵ハ極テ複雑ナル
勤務ニ服シテ居リタノデ、現役ト申シマシテモ甚ダ其境界ガ
明ニナッテ居リマセヌ、ソコデ私ハ茲ニ希望ヲ述ベテ政府當
局ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ師團兵ハ現
役ヲ去ルト、直ニ豫備役ニ入リ在郷軍人トナルノデアリマ
スガ北海道ノハ元々ソノ土地ニ居ルノデアリマスカラ、
屯田現役ヲ罷メマシテモ尙ホ其土地ニ居ッテ勤務ニ服シ
テ居ル、即チ何遍申シマスガ、明治三十四五年ニ東洋ノ
風雲ガ急ニナッタ時分ニハ、現役ヲ罷メテモ豫備役トシテ
其任務ニ服シタ、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、其證據モア
リマスカラ、之ヲ朗讀シテ皆サンニ贊成ヲ得タイノデアリ
ガ、段々時間ヲ取リマスカラ省略致シマスガ、兎ニ角現役ヲ
罷メテモ尙ホ豫備役トシテ此任務ニ就カナケレバナラヌジ
ト云フ、永山司令長官ノ命令ノ下ニ其任務ニ服シテ、日清戰役
ニ於テハ多大ノ功績ヲ表シタト云フコトデアリマスカラ、
ドウカ此處ノ所ヲ御酌取ニナリマシテ、現役若クハ同等ノ
勤務ニ服シタル、斯ウ云フ解釋ノ下ニ御考ヲ願ヒタイ、此希
望條件ヲ附シテ政府當局ノ御考慮ヲ仰ギタイノデアリマス

○三善委員 此屯田兵ノ事ニ付キマシテハ、私ガ義ニ提案
ヲ致シ、政府委員ニ向ッテモ本員ハ希望ヲ申シタノデアリマ
スガ、明治十年十月ニ屯田兵ヲ設ケラレ、其後十六年ニ入ッ
來タ者モアル、ソレガ即チ現役デアアル、現役ガ内地ノ志願兵
ヨリハ長クナッテ居ル、サウ云フ意味ニ於テ現役ト云フコト
ニ一般ヲ認メテ貰フ精神デ述ベテアル、又法文ノ改正モ其

意味デアルカラ、若シ法文ニシテ其意味ガ足ラナカッタラバ、只今ノ松實君ノ言ハレル意味ニ致シタイト思ヒマス

○尚橋委員長 採決ニ入りマスニ先ダッテ一寸伺ッテ置キタイ事ガアリマス、恩給法ハ此修正案ガ通過致シマスレバ年額約一億圓餘ニナリマス、其上ニ一時賜金ト云ッテ、今同ノ軍縮並ニ行政整理ニ於テハ、先般大藏大臣カラ御説明ニナッタル如ク現金二千萬圓、公債四千萬圓、合計六千萬圓ヲ要求サレルサウデスガ、左様ニ致シマシテ漸次恩給額ガ増加致シマスレバ、將來ハ殆ド其底止スル所ヲ知ラズト云ヘバ大仰デアリマスガ、年所ヲ經ルニ從ッテ漸次増大スルコトハ今カラ豫見スルニ難カラヌノデアリマス、就テハ是ハ年限ガ短イカラ多數ノ人ガ早く受恩給者ニナル、且ツ餘リ短イノハ如何ナモノデアラウカ、各國ノ例ヲ見較ベマシテモ、他日普通文官ハ二十年トカ、武官ハ文官ト同様二十年トカ、或ハ十五年デアルカ、ソレハ議論ノアル所デアリマセウガ、何レニシテモ改正ヲスル必要ガアラウ、今日ノ如キ年限デ、直ニ恩給ヲ受クル年限ニ到著スルト云フコトデハ、終ニハ恩給亡國ノ憂ガアル、國ノ歳入ノ一割ヲ恩給ノ爲ニ費サル、恩給ハ隱居サンヲ養フ爲デハナイ、是ハ精力消耗ニ對スル賠償ダト云フト國家ノ義務ノヤウデアリマスガ、併ナガラ實ハ隱居サンヲ養フヤウナ譯デアアル、汗水流シテ國民ガ働イタ共歳入ノ一割ヲ恩給ニ費サル、コトニナル、或ハ一割五分ニナルカモ知レヌ、聞ク所ニ依レバ歐羅巴大戰ノ後、英佛或ハ亞米利加アタリモ非常ニ恩給ノ事ニ付テハ困ッテ居ルノシ、殆ド恩給亡國ノ聲ヲ到ル所聞カザルナシト云フヤウナコトデ、眼前ノ政治ヲヤルノミガ政治家ノ任務デハ勿論ナイ、偶ニハ百年ノ長計モ圖ラナケレバナラヌト思フ、就テハ政府ノ斯様ナ所ト著著眼セラレデ、ドウカ恩給ト云フモノノ年限ヲ他日適當ノ所ニ、現在ヨリハ長クスルト云フ御考ハアリマセウデセウカ、若シ無ケレバ吾々議員トシテハ又相當ノ手段考慮ヲ運ラサナケレバナラヌト思フ、政府デハ併シソレニ付テハ同感デアアルト云フ御考デアラナラバ、是ハ協力一致シテ眞ニ國家ノ大策、百年大計ヲ立ル事ガ必要デアルト考ヘマスガ如何デセウカ、是ハ此案ヲ決定スルニ直接關係ハアリマセウガ、間接ニ關係ガアルコト、思ヒマス、敢テ政府ノ所見ヲ御尋致シマス

○市來國務大臣 恩給ニ係ル年限ヲ延長シテハ如何、是ハ御尤ノ御意見デアルト考ヘマス、併ナガラ唯、今日直ニ實行スル譯ニハ參リマセヌ、相當ノ調査研究ヲ必要ト致シマス、政府ハ將來ニ向ッテ十分ニ研究ヲ致シマシテ、何等カノ成案ヲ得マシタラバ相當ノ措置ヲ執リタイト考ヘマス

○三善委員 先刻ノ百五條デス、北海道屯田兵ノ恩給年限デスガ「若ハ是ト同等ノ任務」ト云フ文字ヲ加ヘルト云フコトニ提案者ノ私自身修正致シマス、御同意ヲ願ヒマス

○高橋委員長 何デスカ今更出來マセヌゾ

○三善委員 百五條ノ北海道屯田兵ノ恩給年期ノコトデス

○高橋委員長 ソレハ突發ニ言ッテモイケマセヌ、折角皆話ガ濟ンデ居ルノデス

○三善委員 松實君ノ言ハル、如クニ……

○高橋委員長 ソレハ何ト云フデモイケマセヌ、アナタ個人トシテソノ事ヲ言ッテモ吾々相談ノ上デ決マツタモノデス何ト云フデモイケマセヌ

○石川委員 一寸承ッテ置キタイト思ヒマスガ、申ス迄モナク今歐洲アタリデハ階級撤廢ト云フコトガアル、無論之ニ不賛成デアアル、併ナガラ社會政策トシテ成ベク階級ヲ近ヅケルト云フコトハ一般ニ唱ヘテ居ルヤウデアリマス、其意味ニ於キマシテ此恩給ノ改正ニ於キマシテモ、成ベク中佐以下ノ人ヲ殖ヤシテヤラウト云フ考ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、現ニ政府ガ先年改正セラレマシタ時ニモ、主トシテ下級ノ方ニ殖ヤシタ所ガ、今度修正サレマシタ案ヲ見マスト、四十年乃至五十年勤メタ人ガ非常ニ殖エテ居ル、然ルニ四十年或ハ五十年勤メタ人ガ非常ニ殖エテ居ル、全ク無イノデアアル、事實ニ於テハ大佐以上デアリマス、詰リ中佐以下ニハ唯、四十年、五十年ノ表ヲ見セルダケデ、何等ハ實用ニ於テハ無イノデアリマス、實用ハ大佐以上デアリマス、隨テ大佐以上ノ人ハ非常ニ殖エタルコトニナル、例ヲ言ヘバ五十年勤メタ大將ノ如キハ、二千圓ガ四千圓ニナルト云フヤウニナリマス、豫テ考ヘテ居リマシタコト、全ク顛倒スル點ガ出來ル、是ハドウシテモ殖ヤサナケレバナラヌモノデアラウカ、私共ハサウマデ殖ヤス必要ハ無イデハナカラウカ、全ク或ル法文ノ關係上サウナルト云フコトデアリマスレバ、何トカ考ヘル方法ガアリサウニ思フ、之ヲ若シ修正致シマスレバソレダケ金ハ餘ル、五箇年ノモノハ四箇年デモ完結スルコトガ出來ルヤウニナル、何カ政府ニ於テ御考ガアリマスレバ、サウ云フコトモ御考ヘ下サレテ、サウシテ五箇年ノモノハ四箇年、四箇年ノモノハ三箇年デ完成スルヤウニシテ戴キタイト思フ、政府ノ御考ヲ此際承ッテ置キタイ

○入江政府委員 只今ノハ御意見トシテ伺ヒマシタガ、實ハ政友會カラノ修正案ニ對スル再修正ノ御意見カト存ジマスガ、政府ハ其事ニ付テドウ考ヘルカト云フ御問デアラウト存ジマスカラ、一應考ヲ申上ゲマス、御承知ノ通り大將ハ大正九年ノ増額ノ時ニハ少シモ増額サレテナカッタノデアリマシテ、當時中將以下順ヲ逐ウテ、下級ニ至ルニ從ッテ割合ヲ好ク増加サレタノデアリマス、隨テ今日ノ恩給額ガ大將ト中將トノ差ガ僅カ百圓前後ニ過ギナイ、斯ノ如キハ

凡ソ軍人トシテ、大將ニナルト云フコトハ拔群ノ功勞ガアリ、且又有用ナ人デナケレバナラヌノヲ、ソレヲ中將トノ差ガ餘リニ少イト云フ非難ガ澤山アツタ、又其非難ガ起ル所以ヲ考ヘマス、大將中將及少將ハ俸給ノ額ニ比例シテ、其恩給額ガ割合ニ大將ガ少チカッタノデアリマス、仍テ今同ノ政友會ノ御修正ヲ拜見致シマス、其俸給ノ割合ニ依ッテ、十一年額ヲ俸給ノ四分ノ一トシテ五十年額ヲ計算シタノデアリマス、事實ニ於テ大將トナリマスレバ、ソレダケ在職年ガ長イノデアリマス、隨テ其受クル額ガ多額ニ上ルコトハ當然ナコト、考ヘマス、併ナガラ政策上大將ノ方ヲ低メルト云フコトハ、政策ノ上カラハ一應然ルベキ事デアリマシテ、既然大正九年ニ於キマシテモサウ云フ風ニナリマシテ、此政友會御修正ノ御案ニ付テ見マシテモ、將官以上ハ俸給ノ實額ヲ基礎トシテ、其俸給ニ對スル割合ガ文官ト同一率ニ出來テ居ルヤウデアリマス、是ハ特ニ大將ナルガ故ニ其率ヲ下ゲルト云フコトハ恩給制度ノ上カラ如何カト考ヘラレル、況ヤ佐官以下ハ其俸給ニ比シマシテ、下級ニ至ルニ從ッテ増加ノ率ヲ餘計ニ致シマシテ、少中尉ニ至リマスト、多年從事シテ居ル者ハ殆ド俸給額ニ達スルマデノ恩給額ニナッテ居ル、其比率ガ上下能ク文官トノ間ノ權衡及上下トノ間ノ權衡ヲ得テ居ルヤウニ考ヘラレマス、ソレト云フコトハ大將ノミニ限テ減額スルト云フコトニハ遠ニ御同意ガ出來兼ネルカト思ヒマス、又大將ガ二千圓カラ四千圓ニナルト云フヤウナ話ニモ其通りデアリマスガ、是ハ先聲申上ゲマシタ大將ハ親任官ノ恩給額ヲ大正九年ニ於テ増加シナカッタ結果デアリマシテ、今度ノ政友會ノ御修正案ヲ見マシテモ、中將、少將ハ其増加ノ率ハ遙ニ下級ノ者ヨリハ少ナイノデ、恐ラク平均額ノ所デ三割ニ達シナイダラウト思ヒマス、全體ト致シマシテモ、他ノ者ガ三割五分乃至三割六分モ増加セラレテ居ラレマス、他ノ者ガ三割五分乃至三割六分モ増加セラレテ居ラレマス、サウ云フ感ジガ爲サノモノ或ハ御尤デアラウト思ヒマスガ、全體ヲ通ジテ、在來ノ現行法ヲ離レテ、一ツノ上下ヲ通ズル制度トシテ御覽下サイマスレバ、此位ノ率ヲ給スルコトガ相當デアラウカト考ヘマスデゾザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○八田委員 希望ヲ此際述ベテ置キタイト思ヒマス、先般私ガ質問シマシタル際ニ、市町村吏員ノ恩給ニ關シマシテ、政府ニ於テハ至急考慮ヲ拂フト云フ御言葉ガアツタ、過ギナイノデアリマスガ、町村ガ此恩給條例ヲ實行スルニ當ッテ、勿論內務大臣、大藏大臣ノ認可ヲ得テ實施スル事ニナッテ居リマスガ、是ハ全國劃一ニ町村役場吏員ニ對シテ同一率ヲ示シ

タ方ガ、國務ノ統一上最モ然ルベシト考ヘ、唯、町村自體ノ出願ヲ待ツテ許可スルト云フコトナク、是ハ何カ地方長官等ニ訓示ヲ致シテ、サウシテ一律ノ恩給率ヲ示シテ、之ニ依ルベシト云フ手本ヲ示サレハコトガ、事務簡捷ノ上ニ然ルコト、考ヘマスガ、段々進ミマシテ町村吏員ガ官吏ニナツタト云フ際ニハ、其就職年間ノ半分ヲ恩給ニ繰入レルトカ、何トカ云フコトモ段々考ヘナケレバナラヌト考ヘマスガ、願クハ——私ハ大藏省、内務省方面ニ於テ、左様ナル考ノ下ニ恩給ノ統一ノ上ニ御盡力アツテ、サウシテ地方長官ニ對スル訓示等ノ御實行ヲ希望シタイ、一言希望ヲ申述ベマス

〔討論終結〕採決ト呼フ者アリ

○高橋委員長 採決致シマス、如何デセウ採決ノ順序ハ——今ノ事ハ政府ダケノコトデ、恩給法ニ關係ノ事デアリマセヌ、普通一般行政ノ關係デアリマシテ、是ハ政府ノ方デ御希望ヲ聽イテ下サレバ宜シイ譯デアリマス、當局ハ答辯ニ及バヌト思ヒマス、ソコデ如何デセウカ、原案ガ爰ニアリマスガ、之ニ最モ遠イ所ノ修正ヲ政友會カラ大分出テ居リマス、三善君ソレカラ津野田君、牧野君カラ修正ガ出テ居リマス、之ニ對シテ高木君カラモ出テ居リマス、四十二條第一項ニ雇員ヲ加ヘルト云フコト、或ハ大正十二年度ニ之ヲ三分ノ一ヤツテ吳レト云フコト、即チ恩給金額ノ三分ノ一ハ大正十二年度ニ之ヲ實行セヨ、斯ウ云フ修正デス、之ニ就テ採決致シマス、高木君ノ申上ゲタ通りノ提案ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者 起立〕

○高橋委員長 少數デアリマス、尙ホ高木君ノ雇員ニ付テ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者 起立〕

○高橋委員長 少數、否決、ソレカラ三善君ノ修正サレマシタ全體ニ付テ、是ハ一々此處ニ申上グル必要ハアリマス、三善君ガ修正サレタコトニ付テ一括シテ決ヲ採リマス、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者 起立〕

○高橋委員長 全會一致可決デアリマス、次ニ津野田君ノ提案サレマシタ修正案、増加恩給ノ方デアリマス、之ニ對シテ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

○高橋委員長 全會一致可決致シマシタ、次ニ牧野君ノ提出セラレタル修正案、法文ノ各條ニ亙リマシテ少シ多クアリマシタガ、之ヲ一括シマシテ採決ヲ致シマス、牧野君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

○高橋委員長 全會一致總テ可決、其他原案ニ御異議アリマ

セヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○高橋委員長 修正以外ハ原案ニ決シマシタ、尙ホ數字ノ整理トカ「ノ」トカ云フ位ノ字句ノ修正ニ對シテハ、委員長ニ御一任ヲ願ヒタイ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○高橋委員長 ソレカラマダ色々本會ニ審査ヲ付託サレテ居ルモノガアリマス、是ハ追テ近日中ニ此建議案ノ處分ヲ致シマス、ソレデハ恩給法ダケハ是デ済ミマシタ、本日ハ是ニテ散會

午後五時二分散會

大正十二年二月二十七日印刷

大正十二年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局